

人文学部グローバル・スタディーズコース（GSC）についてのご案内

武蔵大学人文学部

みなさま、人文学部への合格（入学決定）おめでとうございます。

さて、武蔵大学人文学部では、2017年4月から、新しいカリキュラムがスタートしています。新カリキュラムでは、これまでにはなかった試みとして、グローバル化時代にさまざまな分野で活躍できる人を育てるための新たな教育の仕組みである「グローバル・スタディーズコース（GSC）」を発足させました。以下にコースの概要をまとめましたのでよく読み、入学に向けての準備を進めてください。入試合格の段階でコース所属が確定した人もいれば、入学後にコース所属のための選抜（4月の英語プログラム選抜）を受ける必要のある人、さらには面談（英語以外のプログラム）をおこなうべき人もいますので、注意が必要です。

【1】 グローバル・スタディーズコース（GSC）とは

高度な語学力とグローバル社会に通用する知識と実践力の養成を目的として人文学部の3学科に新設されたコースです。コース運営の仕組みの違いから大きく2つに分かれます。

- ① GSC（英語プログラム）：英語英米文化学科、ヨーロッパ文化学科、日本・東アジア文化学科の共通コースです。どの学科の学生も所属することが可能です。このコース独自のカリキュラムのもとで学びます。
- ② GSC（ドイツ語プログラム）/GSC（フランス語プログラム）/GSC（中国語プログラム）GSC（韓国・朝鮮語プログラム）：ドイツ語 / フランス語プログラムはヨーロッパ文化学科の、中国語 / 韓国朝鮮語プログラムは、日本・東アジア文化学科の学生向けコースです。それぞれ学科の通常カリキュラムのもとで学びながら、指定された特別な科目を履修し、語学力のいっそうの強化を目指します。

【2】 GSC（英語プログラム）

① 英語の授業

外国語は英語を重点的に学びます。1年次前期後半（6～9月の8週間から10週間程度）には、原則として**全員参加の短期英語集中研修**を海外の大学でおこないます（自費による参加。ただし大学が一部費用を給付する制度があります。③を参照）。

② 英語による授業

英語によっておこなわれる講義・ゼミナールの受講が義務づけられています。**卒業に必要な124単位のうち、少なくとも約70%は英語による授業を履修する必要があります。**英語で提供される科目は、基礎的教養を身につける「総合科目」と専門科目（講義科目・ゼミナール科目）に分かれています。なお、希望者は、長期留学の単位認定と組み合わせ、英語による科目のみで卒業することも可能です。

③ 専門分野としての「グローバル・スタディーズ」

「グローバル・スタディーズ」と呼ばれる新しい分野を学びます。現代社会において国家や民俗の枠組みを超えて生じている現象、課題、文化の潮流について、「国際関係論」「グローバル文学」「グローバル日本学」という3つのテーマ群を軸にして、歴史的視点も重視しながら研究してゆきます。

* **グローバル・リレーションズ（国際関係論）**：国家や国境の枠組みを超えた視点でグローバルな問題（たとえば環境、平和、人権、教育、宗教問題など）を考え、現状認識の力や提案力を養います。

* **グローバル文学**：英語圏だけでなくアフリカやアジアなどの作家が英語を使って世界中の読者に向けて発信している作品（小説や評論）を研究対象とします。現代の諸問題（グローバル・イシュー）、異文化同士の対立や交流など、その主題はさまざまです。

* **グローバル日本学**：日本の伝統文化や現代文化を英語で学び、それを英語で紹介（発信）する力を身につけることを目指します。世界に日本文化を「売り込む」ことのできる人、日本文化の理解者を増やすことのできる人材を育てます。

④ 所属学科の科目履修

卒業に必要な単位のうち30%程度については、日本語でおこなわれる講義科目・ゼミナール科目を選択履修することが可能です。所属学科の専門科目など、興味のあるものを履修してください。

⑤ 留学

半年または1年間の長期留学を推奨しています（義務づけてはいません）。

⑥ コーチング制度

GSCでは講義もゼミも英語ですので、予習復習が欠かせません。授業内容や学習方法に関するさまざまな質問や相談に対応するため、「**コーチング**」と呼ばれる**個別相談・指導制度**を用意しています。検定試験スコアアップのサポートや留学支援、進路カウンセリングもおこないます。

⑦ コース指導料

少人数教育の実践、授業外のコーチング（個別・グループ指導）や特別の短期語学研修（海外現地実習）企画・提供するため、**年間12万円（学期あたり6万円）**が必要となります。ただし長期留学中は徴収しません。

⑧ GSC専用の特別給付について

GSC各プログラムには短期語学集中研修費用の一部補助制度や卒業時の成績優秀者褒賞制度など、**専用の特別給付**があります。協定留学の際には通常の奨学金も受けられます。

⑨ 所属に関する仕組み

* **人数制限があります**。30名程度を想定しています。

* 所属希望者は4月入学後すぐに選考をおこない、**選考を通った人はGSC（英語プログラム）のカリキュラムのもとで学修を開始**します。所属する学科の通常のカリキュラムとは大きく異なりますので、違いをよく理解したうえで、希望者は手続きをおこなってください（AO入試の英語4技能判定方式の合格者、帰国生徒対象入試で出願条件を満たし出願時にGSC（英語プログラム）所属を希望した合格者、一般入試の全学部統一グローバル型入試の合格者、ならびに指定校推薦グローバル枠の入学者は選考が免除となります）。

※ 選考は**3月25日から30日に自宅から受けるオンライン志願テスト**、および**4月1日に大学で実施する到達度判定英語試験の結果をもとにおこないます**。後者も試験内容はコンピューター上でおこなう**英語力判定試験（CASECを予定し、VERSANTは中止）**となります。

※ 人数制限の必要上、合格ラインを事前にお伝えすることができません。

* GSCでは学年ごとに到達目標が定められています。求められる学習が継続できないときは、所属学科のほかのコースに移るよう求められることがありますので注意してください（1年次の学修で目標に満たない場合は本人に継続の意思があることを条件に「仮進級」を認めます）。なお、自分の関心対象が変わってくるなどの理由からGSCでの継続を希望しなくなった場合、所定の手続きを経て、所属学科の他コースに移ることが認められます。

* 4月の選考でGSCの所属が認められなかった場合、合格した学科の通常のカリキュラムのもとで学びます。

【重要：GSC（英語プログラム）に属していなくても、英語力アップは図れます！】

学科の通常カリキュラムを学びながら自分のペースで着実に英語力をつけたい人向けに、以下のような様々な選択肢が用意されています。

- * 英語の科目は、学科の必修の授業のほか、学科の選択科目、さらに「選択外国語」という科目群や「共通専門科目・留学準備講座」という科目群にも多数用意されています。
- * 人文学部生は、GSC（英語）に所属しない人も、このコースのために用意された英語による科目（講義科目）を履修し、修得した単位を卒業単位として数えることができます。各学科の通常コースに属しながら、英語学習に対する高い意識を持って、指定されたGSCの科目を履修し、定められた条件の単位を修得した人には、「GSC（英語）アソシエイトプログラム修了証」を発行する、「学修プログラム」という制度も用意されています。
- * 会話力のアップのためにはMusashi Communication Villageの利用をお勧めします。
- * GSCに所属していないと留学できないというわけではありません。協定校の求める英語力をクリアしなくてはいけないのは、みな同じです。

【3】GSC（ドイツ語 / フランス語 / 中国語 / 韓国・朝鮮語）プログラム

GSC（ドイツ語 / フランス語プログラム）はヨーロッパ文化学科所属の学生対象の、またGSC（中国語 / 韓国・朝鮮語プログラム）は、日本・東アジア文化学科所属の学生対象の特別コースです。

コースの特色

- ① **留学や検定試験高得点取得を目標に**、少人数クラスで語学力強化のための集中学修をおこなうためのコースです。高い目標に向けて語学力をアップし、**4年次にはその言語で卒業論文を執筆**することを目指します。
- ② コース所属の許可を得るための選考試験はありませんが、必ず面談を経て所属が決まります。
 - * **ドイツ語 / フランス語プログラム**
既修者を対象としたプログラムです。既修者で、センター方式前期日程の合格とともに入学前に所属許可をもらっている場合には1年次前期からの所属が可能です。また既修者の場合は、4月に面談を受けて、所属許可をもらえる場合があります。未修者の人も1年次の前期単位を修得したところで既修者とみなされますので、1年次後期開始時に面談を経て所属許可を得ることになります（所属のためには一定の要件を満たす必要があります）。
 - * **中国語 / 韓国・朝鮮語プログラム**
未修者も所属を認めています。ただし面談を含む所属手続きが必要です。センター方式前期日程の合格とともに入学前に所属許可をもらっている場合にも手続きは必要になりますので、入学後のガイダンスでの説明をよく聞いてください。
- ③ **コーチング制度**
授業内容や学習方法に関するさまざまな質問や相談に対応するため、「**コーチング**」と呼ばれる**個別相談・指導制度**を用意しています。必要に応じて、検定試験スコアアップのサポートや留学支援、進路カウンセリングもおこないます。
- ④ **コース指導料**
少人数教育の実践、コーチング（個別相談）を提供するため、**年間4万円（学期あたり2万円）**が必要となります。ただし長期留学中は徴収しません。
- ⑤ **GSC専用の特別給付について**
GSC各プログラムには短期語学研修費用の一部補助制度や卒業時の成績優秀者褒賞制度など、**専用の特別給付**があります。協定留学の際には通常の奨学金も受けられます。